

2025年9月30日 第3回

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |           |
|-------|-----------|
| 保育園番号 | 66-1035   |
| 園名    | さんいく保育園有明 |

## 1. 活動のテーマ

## &lt;テーマ&gt;

いもほりセブンからの手紙が届いたよ！お芋（じゃがいも）が大きくなる裏技をやってみよう！

## &lt;テーマの設定理由&gt;

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

育てながら、観察を楽しめているか。どこまで興味を持っているか。これまでに、どんな気づきが得られたか。等、考えるきっかけづくりをする計画をした。只、育てると言っても手入れの仕方があるので、絵本を通して出てくるキャラクターを元に手紙形式（巻物）を使って興味を引き込みながら計画を行った。

## 2. 活動スケジュール

- さつまいもセブンからの手紙が届く。  
→子どもの関心を知り、疑問などを投げかけてみる。
- さつまいも・ジャガイモに関する絵本読みの導入。  
→現在の作物の様子・状態を知る。次は、育てていくにあたって、どのような関わりが必要かを考える。
- 第2回目 数が足りなかった新聞紙でさつまいもの色塗りをしてみよう！  
→さつまいもを想像しながら、新聞紙をどういう風に塗るか？スタンプにしてみるか？を考えながら活動を行う。
- ジャガイモの芽搔き作業の手本を見せ、実践してみる。

## 3. 探究活動の実践

## &lt;活動の内容&gt;

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

【さつまいも】

・さつま芋堀りに行く事をイメージして、事前に子ども達が掘ってみたい形のさつまいもを成型する活動の為に、次回、さつまいもの素材の数が必要であった為、第2回の活動に盛り込んだ。前回、絵の具の筆だけだと、塗る範囲が広い為、新聞紙にスポンジでスタンプ形式をとってみた。

【ジャガイモの芽掻き作業】

・保育者もジャガイモを植えた経験はなく、子ども達と一緒に育て方を学んでいく中で、育て方の絵本を見せながら、成長には芽掻き作業が必要であることを告げる形となった。一本来なら子ども達と、一緒に気付いていたら尚、良かったが、成長のタイミングと活動の予定の考慮にかけてしまっていた。

○本日の活動は、「芽掻き作業」と、「芋塗り」を子ども達に選択してもらい、自由遊びコーナーも含め、興味がある児がやれるように同時に2つの場所に別れて行った。芽掻き作業に興味を持った児は、どの葉っぱを引っ張って良いかを確認しながら慎重にやっていた。その中で、プランターの土の中から、「虫が出てこないかな〜?」と期待する児もいた。さつまいものスタンプは前回、行っていたので、年長児以外は自由に行ったが、スタンプを押す加減などを考えていたようである。



#### 4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

○実際に自分達で「植えてみたい!」「育ててみたい!」と思っても、活動をどのように実際続けるかを考えておかないと、活動が途切れてしまう。今回、いもほりセブンを通して子ども達に気付きを誘導させてしまう形になったが、実際に携わった子ども達が経験した事、又、保育者もこれをきっかけに、野菜の育て方などを知れる機会になったと感じた。